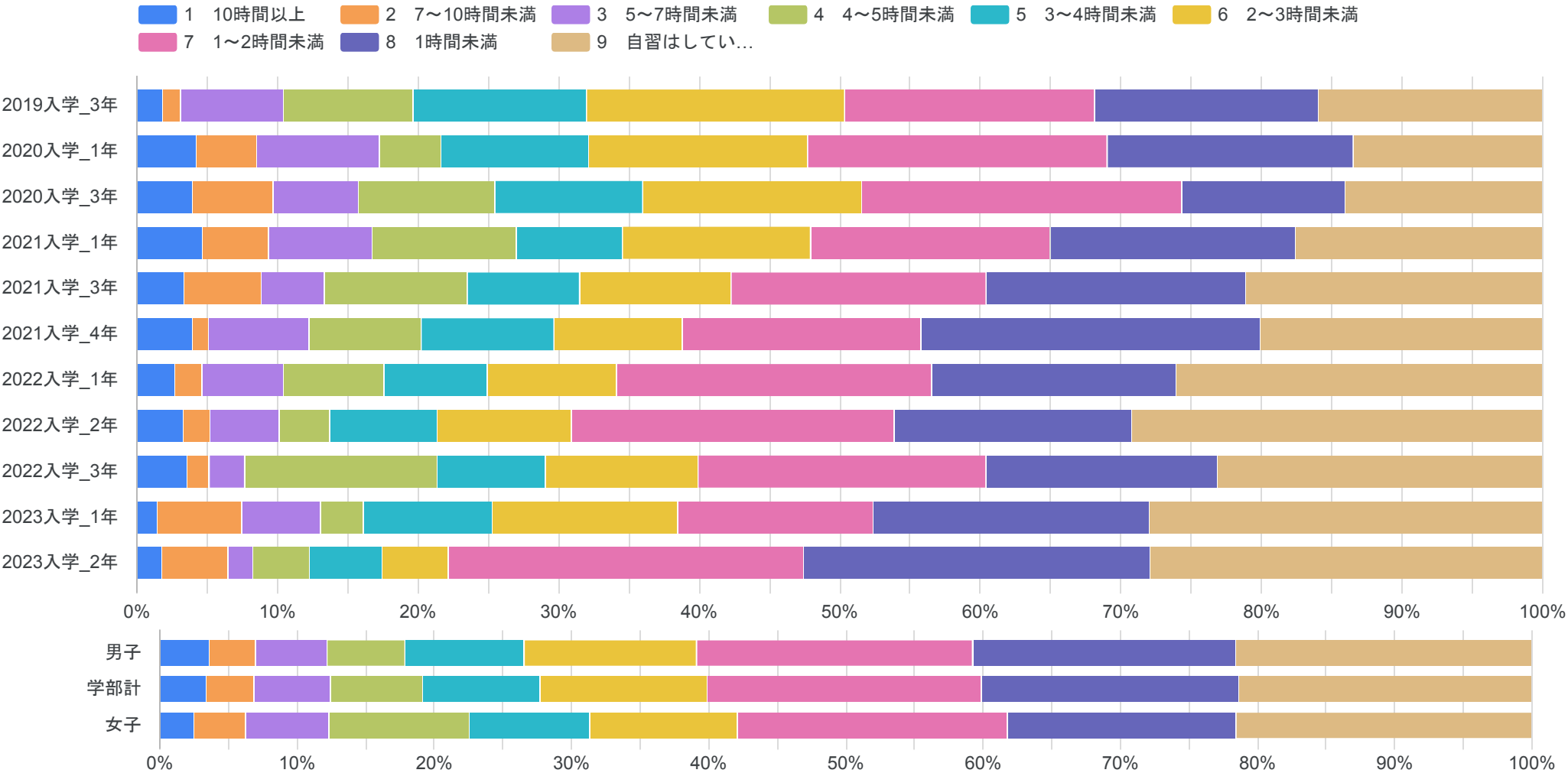


性別

入学年度

学年



■入学年度別の傾向

- ・自習時間1時間未満の学生の増加：2019年度入学の学生と比較して、2023年度入学の学生は自習時間が1時間未満の割合が大幅に増加しています。これは、近年の学生の自習時間が減少傾向にあることを示唆しています。
- ・自習をしない学生の増加：自習をしない学生の割合も2019年度入学の学生と比較して2023年度入学の学生で増加しており、特に2022年度と2023年度入学の学生で顕著です。

■学年別の傾向

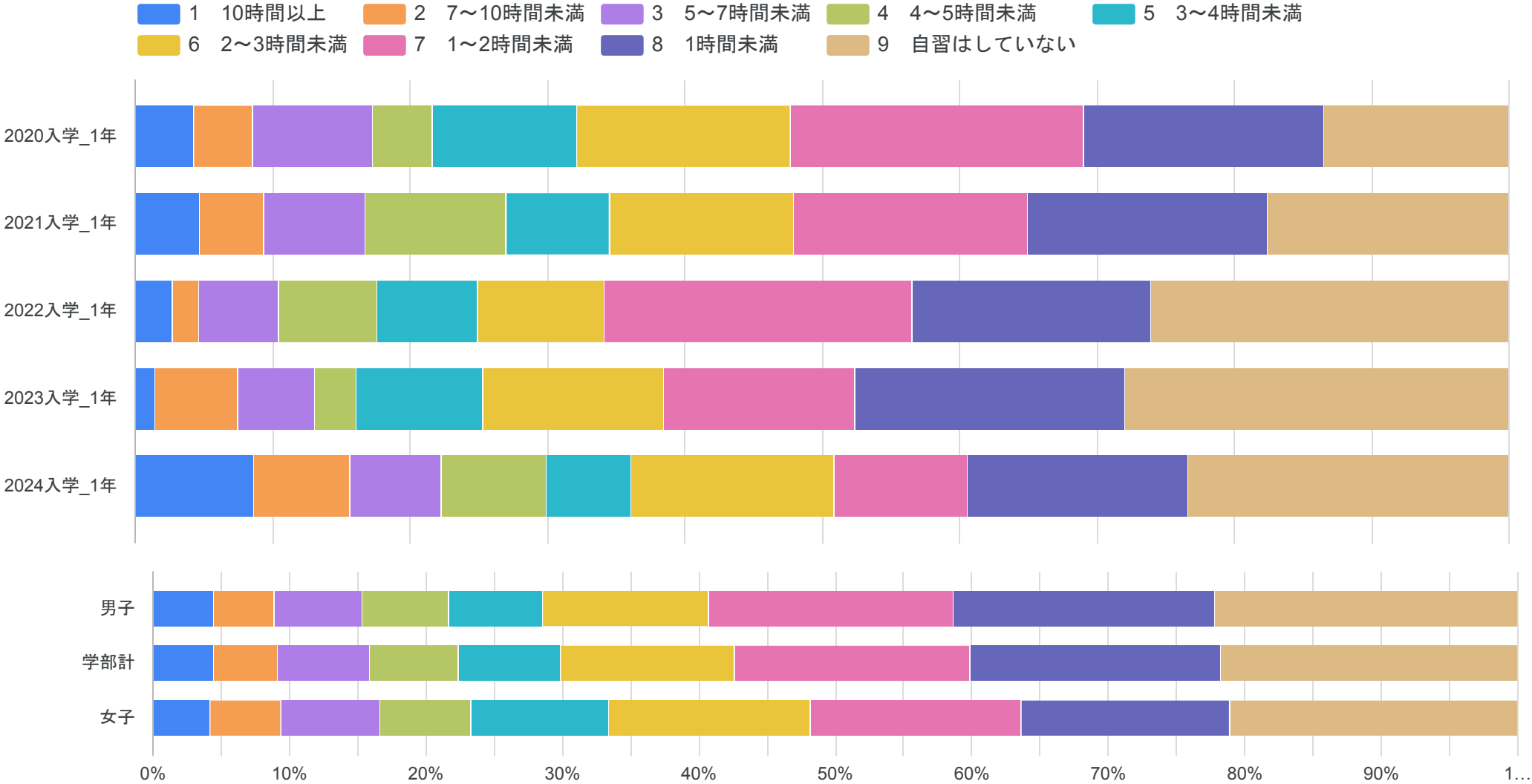
- ・学年が上がるにつれて自習をしない学生が増加：1年生では自習をしない学生の割合が21.29%であるのに対し、2年生では28.58%に増加しています。
- ・低学年での自習時間の集中：1年生と3年生は、比較的長時間の自習（10時間以上、7～10時間未満、5～7時間未満）を行う学生の割合が高く、特に1年生で顕著です。

■性別の傾向

- ・女性の自習傾向：女性は男性と比較して、「4～5時間未満」と「5～7時間未満」の自習時間帯の割合がやや高くなっています。
- ・自習をしない割合の均一性：自習をしない学生の割合は、男女でほぼ同じ傾向を示しています。
- ・女性の学年進行による自習時間の増加：男性の場合、学年が上がっても1年次の自習時間の割合とほぼ同じですが、女性は学年が上がるにつれて9自習はしていないの割合が下がり、自習時間を確保していると回答する割合が増加します。

性別

入学年度



- 全体的な傾向
- ・全体の回答で最も割合が高かったのは「自習はしていない」でした。これは、回答者の間で高校時代の自習時間が非常に少なかった、あるいは全くなかったと認識している学生が多いことを示しています。
- 入学年ごとの自習時間推移
- ・自習時間が少ない層（1時間未満または自習なし）：2020年入学の学生では平均 29.85% でしたが、2023年入学の学生では平均 47.67% となり、自習時間が少ない層の割合が増加傾向にあることがわかります。しかし、2024年入学の学生では 39.43% となり、わずかに減少に転じています。
 - ・自習時間が多い層（7時間以上）：2020年から2023年にかけては、回答率に大きな変動は見られませんでした。しかし、2024年入学の学生では 15.63% と、他の年度と比較して大幅に増加しています。
- 区分別の自習時間
- ・男子は、女子や学部計と比較して「10時間以上」の自習時間が多かった一方、「自習はしていない」と回答した割合も女子よりも高い傾向にあります。
 - ・女子は、男子と比較して「自習はしていない」と回答した割合が低い傾向にあります。